

～ちょっと気になる感染症～



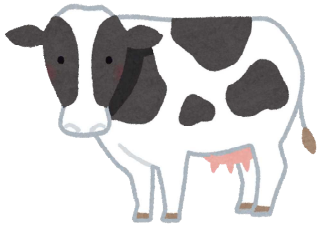
動物由来感染症について

◆動物由来感染症とは

動物から人に感染する病気の総称です。

動物由来感染症には、人も動物も重症になるものや、動物は無症状でも人は重症になるもの等、病原体によって様々なものがあります。

◆大津市での発生状況



腸管出血性大腸菌感染症（0157や026、0111など）のように、毎年国内での感染例が多い感染症から、細菌性赤痢やマラリアのように海外で感染し、国内で発症する感染症（輸入感染症）まで様々です。年間の発生件数が少ない感染症であっても、潜伏期間が数年間にわたるものや、集団感染に発展するものもあるので、注意が必要です。

腸管出血性大腸菌感染症・・・市内発生あり（年間平均3～9件）

細菌性赤痢・・・市内発生あり（平成23年、25年）

マラリア・・・市内発生あり（平成24年）

オウム病・・・市内発生あり（平成22年、28年）

◆予防について

○家庭での野生動物の飼育や、野外での野生動物（のら猫・のら犬なども含む）との接触は避けましょう

○動物に触ったら必ず石けんで手を洗いましょう

○ペットとの過剰な触れ合いは控えましょう

（口移しでエサを与える・一緒の布団で寝るなど濃厚な接触）

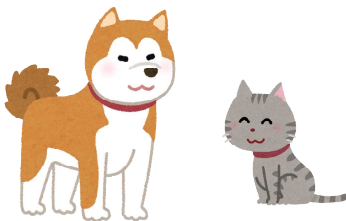
○ペットの糞尿は速やかに処理しましょう

○室内で鳥を飼育する時は定期的に換気しましょう

○砂場や公園で遊んだら必ず手を洗いましょう

○草むらに入るときは長そで長ズボンを着用するなど、

虫に刺されないよう注意しましょう



◆動物の正しい飼育について

環境省自然環境局ホームページ

<http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/>

◆動物由来感染症について詳しくは下記ホームページをご覧ください

厚生労働省動物由来感染症ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou18/>